
性と生殖Ⅱ

池田 理恵 教授
齋藤 真希 講師
柳本 佳世子 助教

2年次後期・必修

2単位・30時間

【概要・目的】

性と生殖Ⅰで学んだ知識をもとに、母性看護を実践するために必要な基礎的知識を習得する。

【到達目標】

- 1) 妊娠・分娩・産褥期及び新生児期のアセスメントに必要な知識を修得する。
 - 2) 母乳育児支援の基本的な知識を修得する。
 - 3) 妊娠・産褥・新生児期のハイリスク状態について理解し、母子と家族の看護を修得する。
-

【内容・スケジュール】

- 1) 妊娠期の看護①
 - 2) 妊娠期の看護②
 - 3) 分娩期の看護①
 - 4) 分娩期の看護②
 - 5) 産褥期の看護①
 - 6) 産褥期の看護②
 - 7) 産褥期の看護③
 - 8) 新生児期の看護①
 - 9) 新生児期の看護②
 - 10) 母乳育児支援①
 - 11) 母乳育児支援②
 - 12) 帝王切開術（術前・術中・術後）の看護
 - 13) ハイリスク状態にある妊産褥婦を胎児及び新生児への看護①
 - 14) ハイリスク状態にある妊産褥婦を胎児及び新生児への看護②
 - 15) 不妊治療と周産期の喪失体験の支援
-

【評価】

筆記試験（80%）、授業への参加態度と提出物（20%）から総合的に評価する。

【教科書】

渡邊浩子他著「マタニティサイクルにおける母子の健康と看護」メヂカルフレンド社

【推薦参考図書】**【その他】**